

近畿都市学会報

第199号

2017年9月18日

近畿都市学会

近畿都市学会・連絡先

■近畿都市学会事務局・編集委員会窓口宛先

〒530-0001
大阪市北区梅田1-2-2-600
大阪駅前第2ビル6階
大阪市立大学大学院 創造都市研究科
小長谷研究室 近畿都市学会事務局
Eメール：info@kintoshi.org
ホームページ：<http://www.kintoshi.org/>

◎会費納入先：ゆうちょ銀行 振替口座
00990-7-86235 近畿都市学会
※ゆうちょ以外の金融機関からは下記で送金できません。
◎ゆうちょ銀行 ○九九店（ゼロキウキウ店）
当座 0086235 キンキトシカ`ツカイ
(編集委員会宛も事務局で共同窓口となりました)
←連絡・入稿はすべて左記のEメールでお願いします。

1. 2017(平成29)年度秋季大会のお知らせ(予定)

近畿都市学会の2017年度秋季大会は、以下のようにおこないます。

【日時】2017年11月26日(日) <例年と異なり日曜開催です>

【エクスカージョン(予定)】10時～、(発表(予定))13時～

【発表会場】大阪狭山市 文化会館「さやかホール」(南海高野線大阪狭山市駅より徒歩3分) 〒589-0005大阪狭山市狭山1-875-1 (なんばから大阪狭山市駅へは、急行以上で北野田まで行き下車し普通に乗り換え2駅目、または区間急行・準急で直行)

【エクスカージョン】大阪府立狭山池博物館と狭山池 <集合は駅を予定、詳細次号>

【プログラム(予定)】

(1) (10時～12時) エクスカージョン《事前申込制》

(2) (13時～13時10分) 碓井照子 会長挨拶

**(3) (13時10分～14時10分) 特別講演 大阪狭山市長 古川照人氏
「大阪狭山のまちづくり(仮題)」**

(4) (14時20分～17時30分) 一般研究報告

(5) (18時～19時30分) 懇親会

★例年自治体開催である秋季大会は、今年は、大阪府大阪狭山市のご協力を得て、実施することとなりました。まちづくりについて市長にご講演いただき、エクスカージョンでは、大阪狭山のまちづくりを見て行く予定です。

★【研究報告の募集】

① 研究報告の申し込み

→報告題目、報告者氏名(所属と連絡先を必ず明記して下さい)、および報告する際の使用希望機器(原則としてPC用プロジェクターに限る)を明記したものを、**10月20日(金)必着で近畿都市学会事務局まで**、電子メールまたは郵便ハガキのいずれかの方法でお送り下さい。

② 報告要旨の提出

→報告要旨を作成し、**10月27日(金)必着で上記の近畿都市学会編集委員会まで**、基本的に電子メール(添付ファイルによる送信が望ましい)でお送り下さい。なお、フォーマットはヨコ40字・タテ38行、10.5ポイント、MS明朝(英数はcentury)とし、図表を含めて、1200字以内とします。図表は、エクセルや画像の形式で、電子メール添付でお送りください。

★ [一般参加申込方法] 資料、懇親会等の予約の関係がございますので、参加者希望は、原則、電子メールにて事務局 (info@kintoshi.org) へ

① エクスカーションの参加の有無

② 懇親会の参加の有無

をお知らせください。締切は11月15日といたします。

II. 近畿都市学会2017(平成29)年度春季大会のご報告

近畿都市学会の2017年度春季大会は、2017年6月24日(土)に、奈良教育大学で開催され、近畿都市学会確井照子会長による挨拶の後、国土交通省観光庁観光カリスマ、「なら燈花会」企画創始者。株式会社読売奈良ライフ代表取締役社長・編集長 朝廣佳子氏による講演「なら燈花会とまちづくりのための人材育成」が行われました。

ひきつづき以下の9件の一般発表研究報告、大会参加者約60名による活発な討論がおこなわれました。一般研究報告のあと、チャイナダイニング飛天にて懇親会(参加者18名)が盛況のうちに開催されました。

[101] 「道の駅の地域に対する産業連関分析

ー兵庫県の但馬・阪神・神戸市地域の例ー

松尾隆策(神戸大学大学院経済学研究科)

山口三十四(神戸大学名誉教授)

[102] 「人口高齢化を克服する「超高成長・超高齢地域」の成長特性に関する研究」

許文九(産業研究院地域発展研究センター専任研究員)

金鎮瓊(梨花女子大学大学院・ビッグデータ分析学院生)

[103] 「アンケート結果からみるモニタリング・ペナルティへの

現場の意識についてー八尾市立病院のPFI事業の事例からー

朴井晃(八尾市立病院)

[104] 「米国の大都市圏とNFLのチーム本拠地の立地変動ーMLBとの比較」

松田隆典(滋賀大学教育学部)

[105] 「奈良県におけるパルイベントの地域的特性」

石原肇(大阪産業大学)

[106] 「地域交流の「場」のデザインに関する研究

ーキュレーターが存在に着目してー

田中晃代(近畿大学総合社会学部准教授)

[107] 「非計画商業市街地の形成ー神戸・トアウエスト地区を事例としてー

松本麻里(近畿大学大学院総合理工学研究科環境系工学専攻)

[108] 「再開発事業における権利変換システムの特徴

ー転出をせざるを得ない地権者の選択理由ー

山野節雄(大阪市立大学大学院創造都市研究科博士(後期)課程)

[109] 「サービス付き高齢者向け住宅の供給構造: ビジネスモデルによる分析」

山下恒夫(元UR(都市機構))

III. 近畿都市学会理事会等のご報告

近畿都市学会2017年度第3回理事会は、2017年6月24日(土)に、大会会場で開催され、予算・決算、事業報告・事業計画、規約改正、人事等を審議しました。

近畿都市学会2017年度第4回理事会は、2017年9月8日(金)に大阪市立大学文化交流センター談話室(大阪駅前第2ビル6階)で開催され、2017年度春季大会報

告（奈良教育大学）、2017年度秋季大会（大阪狭山市）を審議し、会員管理システムの完成と各会員への告知、会費納入促進策（振込用紙渡し）、幹事の追加等を決定しました。

IV. 日本都市学会理事会等のご報告（今年より近畿が本部となりました）

日本都市学会2017年度第1回理事会は、2017年6月18日（日）にメルパルク京都で開催され、規約改定（分担事務局・役員体制等の明確化）、新年度常任理事の承認、2016年度事業報告および決算報告案、2017年度事業計画および予算案、第63回大会報告（中部）、第64回大会予定（東北）、第65回大会予定（九州）などを審議しました。

日本都市学会2017年度第2回理事会は、2017年9月10日（日）にキャンパスプラザ京都で開催され、新年度理事の理事会としての承認、第64回大会予定（東北）、第65回大会予定（九州）等を審議し、学会賞・論文賞の選考を決定しました。

V. 日本都市学会、第64回大会（東北担当、石巻市で開催予定）、第65回大会（九州担当、福岡市で開催予定）のお知らせ。

日本都市学会第64回大会（2017年度）は、東北都市学会が担当し、2017年10月27日（金）・28日（土）・29日（日）に、宮城県石巻市（予定会場は石巻魚市場）において、「都市の復興モデルを探る」をテーマに開催する予定です。

来年の、日本都市学会第65回大会（2018年度）は、九州都市学会が担当し、2018年10月19日（金）、20日（土）、21日（日）に、福岡市において、「発展する都市（仮）」をテーマに開催する予定です。★ご注意（訂正）本ニューズレター198号（5月号）および、日本都市学会ニューズレター44号（8月号）で、来年の大会は11月2日～4日との予定をお知らせしましたが、その後、地域都市学会のご準備のご都合により、日程が上記に変更となりましたのでご注意ください。

詳細は今後も、ホームページで追って連絡してまいります。学会員の皆様はスケジュールの調整をよろしくお願いいたします。くわしくは、日本都市学会ホームページ <http://www.toshigaku.org/> をご覧下さい。ふるってご参加ください。

VI. 事務局より（会員異動）

- 新入会員：山中啓嗣、松村孝、鶴指眞志、小谷功、大島祥子、山口三十四
- 退会：梅原隆治、寺本光雄、八木隆一郎、今井英文
- ご逝去：竹村保治（2017年6月19日）

VII. 2017（平成29）年度総会、評議員会、理事会等の結果

2017年理事会・評議員会・総会において、2016年度決算、2017年度予算、会則改定、新年度役員等が、以下の通りに承認されました。

【1】【会則改正（2017年6月24日総会）】 ■第4章 役員 以下の第13条を追加。第13条 役員（特に理事）は大会等の出席につとめるものとする。 ■附則（旧）本会則は2016年7月3日から施行する。=>（改正）本会則は2017年6月24日から施行する。

【2】【総会時点2017年度役員（50音順、原則として任期2016年7月～2017年6月）】
（会長） 碓井照子
（理事）

（庶務） 酒井高正（会計等）、小長谷一之（委員長：会議調整、ML等）、久隆浩（出版発送）、中川万喜子（会員管理等）。

(編集) 後藤暁夫(編集総務)、松澤俊雄、和田真理子、山崎健。

(集会) 石田信博、根田克彦、實清隆、大和里美。

(評議員) 稲垣稜、香川貴志、加藤一誠、加藤恵正、坂西明子、佐藤彰男、佐野光彦、佐々木雅幸、関根秀和、高山正樹、淡野明彦、徳岡一幸、長尾謙吉、藤井正、前川知史、三輪康一、安田孝、安田丑作、山田誠、綿貫伸一郎。

(監査) 山村和宏、桑田政美。

(幹事) 井垣貴子、上田恵美子、牛場智、小畑和也、久保秀幸、中西久雄、村田和繁、山下恒夫、吉川浩。

【事務局】 大阪市立大学大学院創造都市研究科 小長谷研究室内

[〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階]

《名誉会員》(日本在籍) 小森星児、竹村保治、成田孝三、西川幸治、山田浩之。(近畿のみ) 天野光三、石原照敏、岡本登太郎、金坂清則、倉田和四生、田口芳明、鳴海邦碩、西田彦一、野口隆、宮本憲一、三輪雅久、安井司、山本剛郎、吉井藤重郎。

【参考：日本都市学会関係(2017年度分)】(理事) <支部会長理事> 碓井照子。

<支部選出理事(次期改選)> 山崎健、久隆浩。<常任理事(新任)> 根田克彦、小長谷一之、大和里美、酒井高正。<監事(新年度、近畿からは無し)>。

<学会賞(論文賞)委員> 碓井照子、久隆浩。<学会賞(奥井賞)委員> 小長谷一之。

【3】 2016年度決算

近畿都市学会 2016年度決算

2016年5月1日～2017年4月30日

収入の部	予算額	決算額	備考
会費	¥1,200,000	¥592,000	
寄付・その他	¥200	¥2	預金利息
積立金	¥0	¥0	
前年度繰越金	¥1,444,120	¥1,444,120	ゆうちょ¥614,000、三井住友¥158,112、現金¥672,008
計	¥2,644,320	¥2,036,122	

支出の部	予算額	決算額	備考
日本都市学会費	¥540,000	¥540,600	2016年度分 4,000円×159名×0.85
大会運営費	¥150,000	¥81,750	春季大会、春季大会
会議費	¥10,000	¥1,780	会議お茶代
印刷費	¥700,000	¥331,776	「都市研究」15号、会報第194-196号
人件費	¥30,000	¥7,000	発送アルバイト
業務委託費	¥200,000	¥177,811	会員管理システム(2017年5月～2018年4月分)
通信費	¥200,000	¥91,332	ホームページ費用を含む
運搬交通費	¥40,000	¥10,000	日本都市学会理事会(名古屋)会長&理事交通費補助
消耗品費	¥40,000	¥20,360	封筒、文具
雑費	¥10,000	¥3,240	振込手数料
積立金	¥0	¥0	
予備費	¥724,320	¥0	
次年度繰越金	¥0	¥770,473	ゆうちょ¥74,000、南都¥653,910、現金¥42,563
計	¥2,644,320	¥2,036,122	

【4】2017年度予算

近畿都市学会 2017年度予算

2017年5月1日～2018年4月30日

収入の部	予算額	前年度比	備考
会費	¥1,500,000	¥300,000	未収金回収分を含む
寄付・その他	¥200	¥0	銀行金利を含む
積立金	¥0	¥0	
前年度繰越金	¥770,473	¥-673,647	ゆうちょ¥74,000、南都¥653,910、現金¥42,563
計	¥2,270,673	¥-373,647	

支出の部	予算額	前年度比	備考
日本都市学会費	¥550,000	¥10,000	年報51号（2017年度）
大会運営費	¥150,000	¥0	春季、秋季
会議費	¥10,000	¥0	理事会等
印刷費	¥700,000	¥0	『都市研究』第16号・第17号、会報197～201号
人件費	¥30,000	¥0	発送アルバイト
業務委託費	¥180,000	¥-20,000	会員管理システム利用費
通信費	¥150,000	¥-50,000	発送費、ホームページ費
運搬交通費	¥10,000	¥-30,000	（日本都市学会理事会交通費補助は不要）
消耗品費	¥40,000	¥0	
雑費	¥10,000	¥0	
積立金	¥0	¥0	
予備費	¥440,673	¥-283,647	
計	¥2,270,673	¥-373,647	

■ 近畿都市学会入会（日本都市学会同時入会）のすすめ

21世紀は人類の大半が都市民となる空前の「都市の世紀」を迎えました。しかし、この急速な都市化の前には、環境、開発・保存、防災、人口、交通、福祉等の深刻な課題が逼迫しています。これらの課題の調査研究は、従来は土木・建築、地理、経済・経営、社会、政治・法等の諸学会の研究課題として取り組まれてきましたが、それらの総合的研究は、未だ十分な状態にあるとはいえません。都市に関する理論や諸問題を研究し、健全な方向に都市の発展を導くような総合的・学際的「都市研究」が、各方面から要請されています。

こうした要望にこたえ、第二次大戦後、日本都市学会が復活し、1957（昭和32）年にはその支部として近畿都市学会が設立されました。この間、学会では大学その他の研究者と市政担当者との緊密な協力のもとに、都市に関する総合的な調査研究の実をあげてきました。さまざまな都市問題の解決、都市政策の提言・実践が緊急に迫られている今日、更に多くの研究者、公共団体、NPO・NGO等の市民団体の皆様に御入会をいただき、実り豊かな都市研究を押し進めたいと考えています。この主旨に御賛同のうえ、近畿都市学会に御入会下さいませよう切に希望する次第です。

1. 代表的な年間活動

- (1) 学術雑誌『都市研究』を年1回発行。
- (2) 『近畿都市学会報』を年4回発行。
- (3) 学術雑誌『日本都市学会年報』を年1回発行。[日本都市学会事業]
- (4) 『日本都市学会ニュース』を年2回発行。[日本都市学会事業]
- (5) 近畿都市学会大会を年2回開催（春季大会は大学・学術研究機関等、秋季大会は地方自治体）。
- (6) 他に日本都市学会大会を年1回開催。[日本都市学会事業]
- (7) 日本都市学会賞（奥井賞、論文賞、まちづくり賞、共同賞）の授与。
[日本都市学会事業]

2. 普通会员の特典

- (1) 上記、雑誌『都市研究』（年1巻）の購読、投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記、『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記、雑誌『日本都市学会年報』（年1巻）の購読、投稿の機会。
- (4) 上記、『日本都市学会ニュース』（年2号）の購読の機会。
- (5) 上記、近畿都市学会大会（年2回）への参加、発表の機会。
- (6) 上記、日本都市学会大会（年1回）への参加、発表の機会。
- (7) 上記、日本都市学会賞の授与対象となる機会。

※日本都市学会は地域学会（近畿都市学会他）から同時入会となります。普通会员は、年会費8,000円（日本都市学会会費4,000円＋近畿都市学会会費4,000円）です。自治体・法人・企業等は、特別会員（年会費10,000円）となります。

3. 学生会員の特典（学生は普通会员のほか学生会員を選択することもできます）

- (1) 上記、雑誌『都市研究』（年1巻）の購読、投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記、『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記、近畿都市学会大会（年2回）への参加、発表の機会。

※学生会員は、年会費4,000円（近畿都市学会会費のみ）です。

4. 申込連絡先

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600大阪駅前第2ビル
6階大阪市立大学大学院 創造都市研究科 小長谷一之研究室内 近畿都市学会
事務局

①ホームページ：<http://www.kintoshi.org>

②Eメール：info@kintoshi.org